

アクションプランのまとめ

＜アクションプラン＞左から ア. しっかりできている、イ. だいたいできている、ウ. あまりできていない、エ. ほとんどできていない

＜プラン1＞ 学習意欲、基礎学力の向上（学び合い）

＜数値指標＞ 平日の家庭学習を1時間以上行う生徒の割合を80%以上とする。

方 策	1. 生活を見直し、家庭学習の時間が確保できるように生活設計を立てさせます。 2. 授業マナーアップ週間や学習コンクールを年3回以上実施し、具体的な目標を共有して取り組む場を設定します。 3. 各教科、学年から適切な課題を設定し、また、提出物をきちんと出すようにさせます。 4. 家庭学習の成果が生かされるような授業の進め方を工夫し、意欲をもたせます。
-----	---

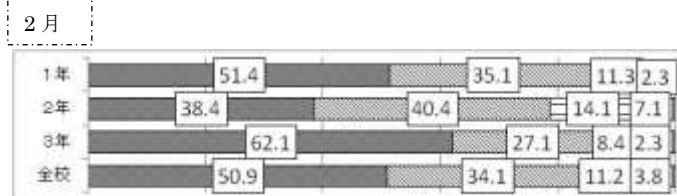
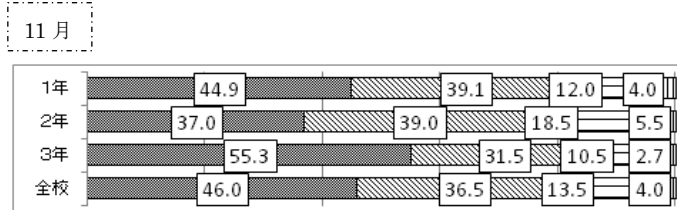
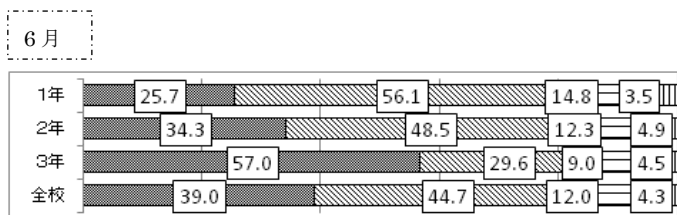
(1) 教科の提出物は、期限内にきちんと出している。

※考察に出ている割合は「しっかりできている」「だいたいできている」のたした割合です。

＜考察＞

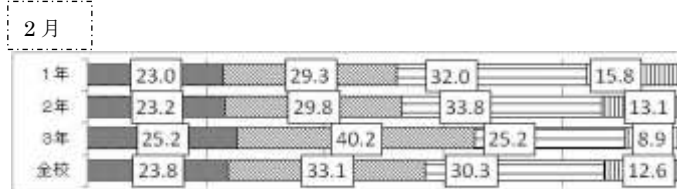
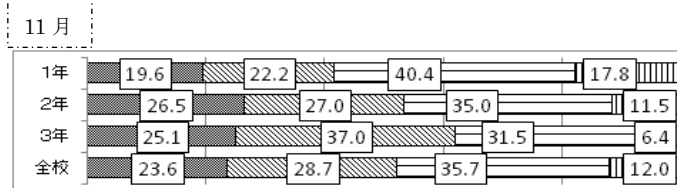
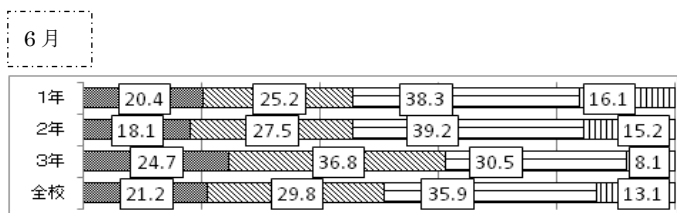
(1) 全校では11月82%→2月85%と、提出している生徒は少し増加しましたが、提出していない生徒も少なくありません。促されれば提出できる生徒もいるので、学校側の取り組みは大切です。

最も心配なのは全くできていない生徒です。学習準備と同様に、家庭との連携が必要だと思います。

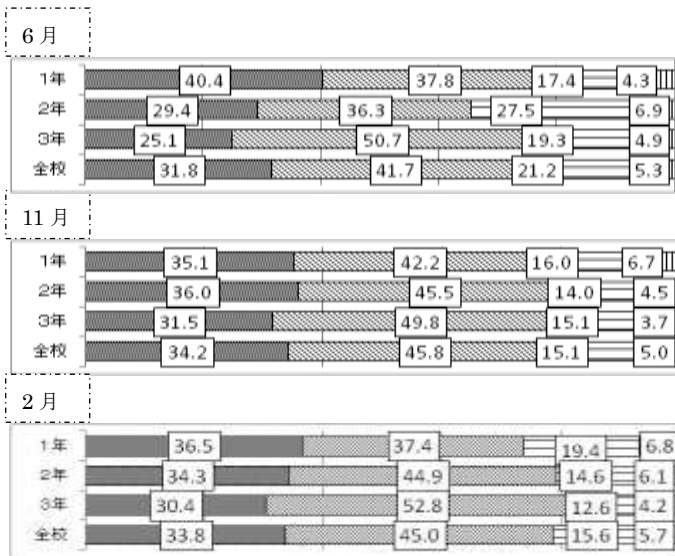


(2) 授業中、自分の意見を言うように心がけている。

(2) 全校では11月52%→2月57%と、少し高くなりました。意見を言うように心がけている生徒が、どの学年もようやく半分を越えました。意見を言う場の設定や、自分の意見に自信をもたせる指導などの授業改善と意見を受け入れてもらえる温かい人間関係づくりの取り組みを、今後も並行して行いたいと思います。



(3) おおむね（大体）授業を楽しんでいる。

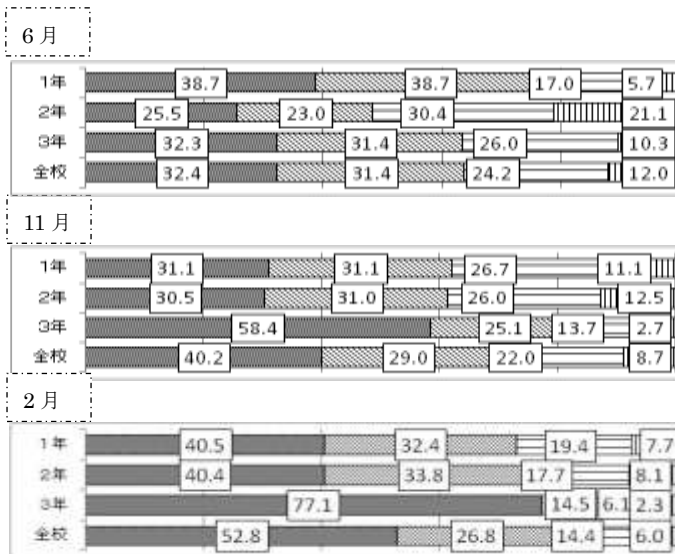


(3) 全校では11月80%→2月79%と、少し低くなりました。授業が難しくなる中、楽しいと感じる生徒はどうしても減っていきます。

互いによさを認め合い、学び合える学習集団づくりを進め、家庭学習（予習）、授業改善や補習、個別指導、学び合う場の設定などの手立てを通して、分かる喜びや困難を乗り越える喜びを生徒が感じることができるよう、授業改善を続けていきます。



(4) 平日の家庭学習を1時間以上している。



(4) 全校では11月69%→2月79%と、どの学年も3学期は大きく向上しました。1年生は部活動と学習の両立ができるようになり、2年生は進路への関心が高まっています。ただ、調査期間が私立入試や実力テストの直前だったので、恒常的に家庭学習が定着しているとは考えにくいです。復習は、学んだ直後の方が効果が高くなるとの結果が報告されています。毎日継続した学習ができるようにするためにも、環境や生活習慣を整えていくことが大切です。

最終評価	B	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習を1時間以上している生徒は79.6%とかなり目標に近づいてきました。しかし、調査の時期が私立入試や実力テスト前ということで数字がよくなった面もあります。恒常的に家庭学習が定着するには、家庭学習の重要性を理解させ、また、自分の決めた学習パターンを成し遂げているかのチェックをしていく体制をつくらなければならないと思います。
------	---	--

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)

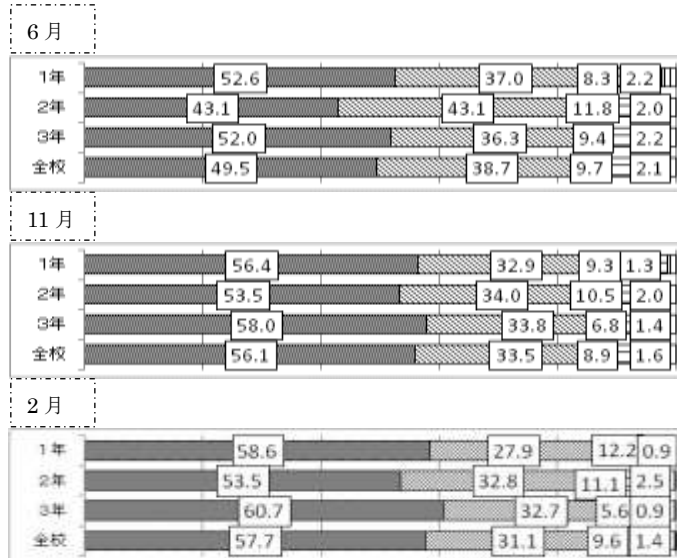


<プラン2> 一人一人が輝く学校づくり（認め合い）

<数値指標> 「学校生活や行事の中で自分の力を発揮できた」と回答する生徒の割合を80%以上とする。

方 策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一人一人の生徒のがんばりを励まし、自立を促す指導を行います。 2. 教育相談やいじめ、悩み調査等を通して、生徒の悩みを解決する場面をつくります。 3. 生徒のアイデアを生かした活動や生徒が主役となる行事を計画します。 4. 部活動の充実や生徒が互いに認め合う活動の継続に努めます。
-----	--

(5) 進んであいさつをしている。



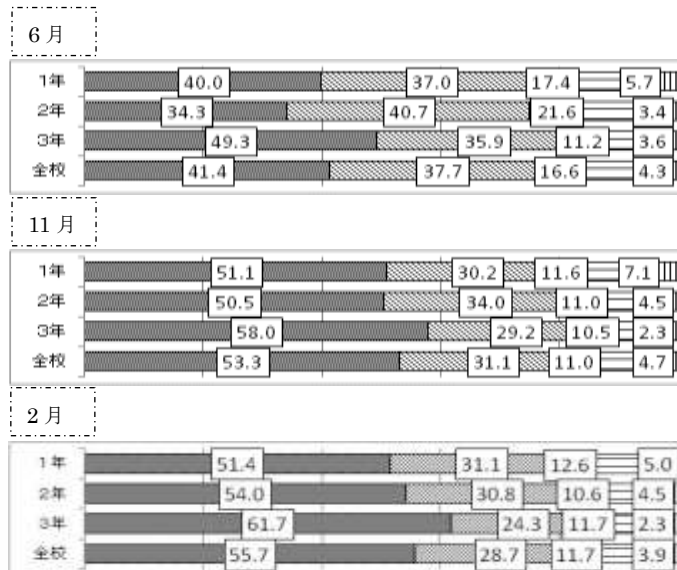
(5) 全校では11月89%→2月88%と、あまり変わりませんでしたが、3年生は90%を大きく超えました。

3学期は寒くなったせいか、元気よくあいさつを交わす生徒が少なくなったような気がします。

年間を通して、生徒と先生によるあいさつ運動や「あいさつりレー」「小・中連携によるあいさつ運動」等の実施もあり、習慣化されたと感じます。しかし、校外や家庭でのあいさつや、朝のあいさつ以外の様々な場面でのあいさつの定着も図りたいと思います。



(6) 学級の係の仕事や委員会などの活動に積極的に取り組んでいる。

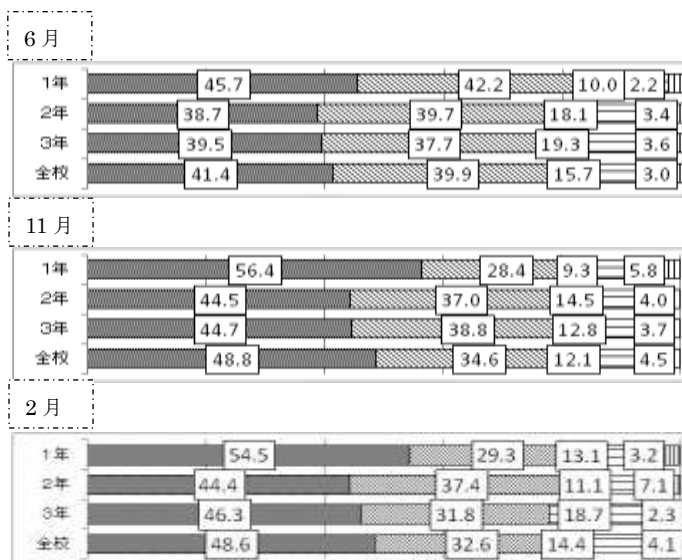


(6) 全校では11月84%→2月84%と、変わりませんでしたが、1、2年生は少し高くなりました。

1、2年生は予餞会の企画や実践を通し、一人一人役割を担うといった自覚や意識が徐々に高まってきました。各委員会の創意工夫を凝らした活動も多くなり、来年度も自主的に活動してほしいと思います。



(7) 学校行事や部活動などにおいて、自分の力を発揮している。

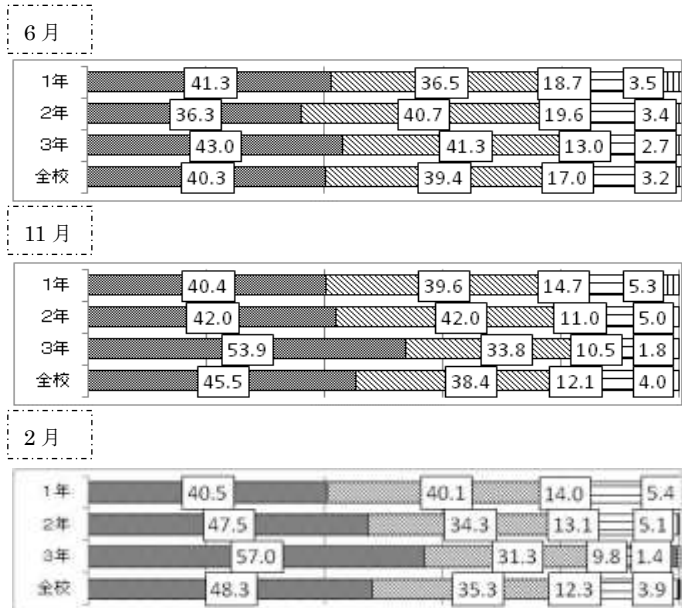


(7) 全校では11月83%→2月81%と、少し低くなりました。特に、すべての大きな行事を終えた3年生は、3学期になって数値が下がりました。1年生も冬期間に入ると、部活動で力を発揮していると感じる生徒が、少なくなったようです。

学校行事や部活動は、生徒一人一人が活躍できる場の一つです。今後も活動意欲の出る環境づくりに努めていきたいと思います。



(8) いつも目標をもち、充実した中学生生活を送っている。



(8) 全校では11月83%→2月83%と、変わりませんでした。3年生は自分の進路に向かって努力している姿が、数値に表れているようです。1、2年生には、充実していないと答えた生徒が約20%いました。

今後も、一人一人が目標をもち充実した生活を送るためにも、一人一人の悩みや思いに対する教育相談や道徳、グループエンカウンター等の実践を継続・充実させ、学級・学年・学校の仲間づくりに努めたいと思います。



最終評価	A	<ul style="list-style-type: none"> 2学期まで学校行事で活躍した3年生は、自分の目標に向かって努力している生徒の割合が増えました。1、2年生は、どの項目の数値を見ても、意欲的に学校生活を送っていると答える生徒が多かったです。 年度当初に定めた数値目標を上回ることができました。
------	---	---

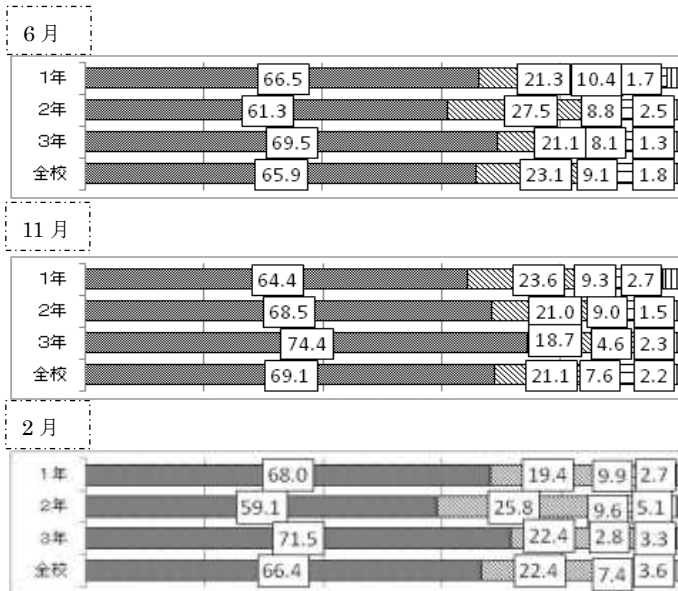
(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：あまり達成できなかった D：達成できなかった)

<プラン3> “早寝・早起き・朝ごはん”の実践と、自分で自分を守る安全教育（健やかに）

<指 標> 栄養バランスを考えて朝食を摂取することのできる生徒を育てる。交通マナーを守る生徒を育て、無事故記録を伸ばす。

方 策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学期ごとに朝食調査を実施し、朝ごはんの栄養のバランスの見直しや改善を行います。 2. 講演会や食事指導、「保健だより」や「給食ニュース」等を通して、生徒や保護者の朝ごはんについての意識の啓蒙します。 3. 就寝時間調査、とやまゲンキッズ作戦アンケートを実施し、生活習慣の見直しや改善を行います。 4. 交通マナーアップの呼びかけをします。
-----	---

(9) 栄養バランスを考えて、毎朝必ず朝食を食べている。

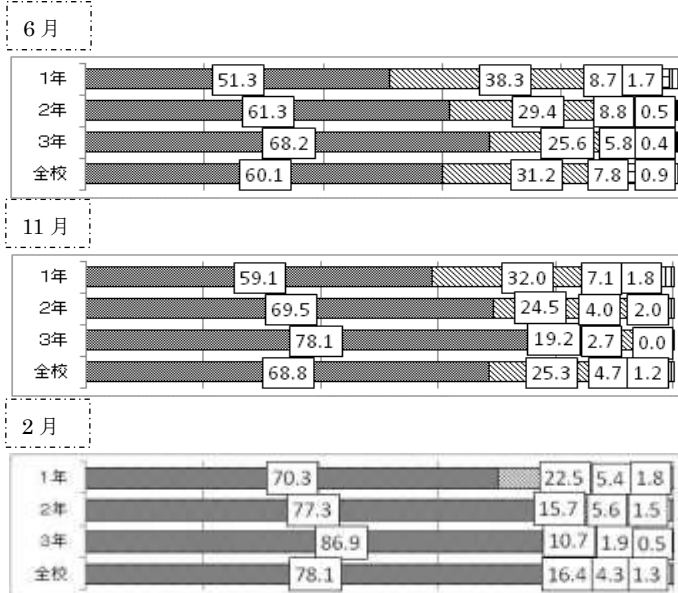


(9) 全校では11月90%→2月88%と、少し低くなりました。冬休み中、及び、1月中旬の朝食調査の実施結果を「保健だより」を通して保護者に理解と協力を求めたり、とやまゲンキッズ作戦アンケート結果を基にした個別指導を実施したりしてきたことで、朝食の大切さを学び、改善していこうという意識は高まりました。しかし、全校で10%余りの生徒が実践に至っていません。

「早寝・早起き」をして、朝食の時間にゆとりをもつことが大切だと思います。



(10) 登下校時、交通マナーを守っている。〔自転車・並進しない/歩行者・車や他の人に迷惑をかけない〕



(10) 全校では11月84%→2月84%と、変わりませんでした。3年生は、「しっかりできている」生徒の割合が徐々に増えました。上級生としての自覚の表れだと思われます。また、安全を意識し、交通規則を守っている生徒は、全体的に、わずかながら増えました。しかし、交通規則を守らない生徒もいるので、継続的な指導を要します。



最終評価	C	<ul style="list-style-type: none"> ・朝食の摂取率は、年間を通して98%と高率を維持しましたが、100%にはなりません。また、約20%の生徒が、主食なしや主食のみでした。就寝時刻も全体として遅くなってきています。栄養バランスを考えて朝食を摂取するには、基本的な生活習慣を身に付け、朝、時間にゆとりをもつことも大切です。そのためには、保護者の理解と協力が必要であると思います。 ・交通規則や交通マナーを守っていると回答した生徒は、全校で少し増えました。しかし、保護者のアンケートの中には、「交通ルールや交通マナーを守らない、自転車の並進やノーヘルメットなどの生徒を見かける。」という指摘もありました。交通事故に遭わず、安全に登下校するために、100%の生徒が交通規則や交通マナーを守ることができるよう、生徒の心に響く指導を今後も根気強く継続していく必要があります。
------	---	--

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった)

＜アクションプラン保護者アンケート結果＞

1月に実施したアクションプラン保護者アンケートの集計結果をお知らせします。たくさんの保護者の皆さまにご協力いただき、ありがとうございます。さらに、「ご意見欄」に、授業や学習、提出物、学校行事、部活動、懇談会、生徒の登下校の様子（交通ルールや交通マナー）、学校から家庭への情報伝達（連絡）の在り方等についてのたくさんの貴重なご意見を書いていただきました。ありがとうございました。今後の学校の教育活動に生かしていきたいと思っております。

		評価項目 【回答1と2の合計(%)】(1年、2年、3年、全体)	
プラン1	(1)	子どもは、平日の家庭学習を1時間以上している。 1年:52.1 2年:61.0 3年:79.0 全体:63.7	
	(2)	子どもは、授業に真剣に取り組んでいる。 1年:70.2 2年:68.2 3年:80.0 全体:72.7	
	(3)	学校(本校)は、わかりやすい授業の実践に努めている。 1年:48.8 2年:47.2 3年:53.1 全体:49.7	
プラン2	(4)	子どもは、楽しく学校に通っている。 1年:88.2 2年:92.9 3年:92.6 全体:91.1	
	(5)	運動会や文化祭、合唱コンクールなどの学校行事は生徒が中心となって取り組み、充実している。 1年:88.6 2年:89.0 3年:87.4 全体:88.3	
	(6)	学校(本校)は、生徒や保護者に対して、親身になって相談できる体制になっている。 1年:51.2 2年:56.6 3年:68.4 全体:58.5	
プラン3	(7)	子どもは、栄養バランスを考えて朝食を食べている。 1年:61.1 2年:56.0 3年:64.7 全体:60.7	
	(8)	子どもは、交通ルールやヘルメットの着用などの交通マナーを守ろうとしている。 1年:92.4 2年:91.2 3年:85.3 全体:89.7	
	(9)	学校(本校)は、健康や事故防止に配慮し、保健・安全対策(保健委員会や健康講座、交通安全教室等)をよく行っている。 1年:72.5 2年:73.6 3年:72.1 全体:72.7	